

議 事 録

件 名	第 33 回児童虐待防止対策委員会
日 時	令和 7 年 10 月 17 日（金）13:00～14:00
場 所	久留米市役所 3 階 302 会議室
出席者	委 員 重永委員長、佐田副委員長、速水委員、早川委員、武藤委員、岡部委員、西村委員、野口（美）委員、竹下委員、乙丸委員、梶島委員、野口（晶）委員、田中委員
	事務局 （家庭子ども相談課）緒方補佐、佐藤補佐、佐々木 （安全安心推進課） 山下主幹、新村補佐、田中
欠 席 者	堀江委員
傍 聴 者	なし
次 第	1. 開会 2. 協議事項 （１）セーフコミュニティ児童虐待防止対策委員会 正・副委員長の選出について （２）次期国際認証に対するアンケート結果について （３）みんなでセーフコミュニティ賞について 3. その他 （１）児童虐待防止対策委員会の取組（啓発活動 オレンジリボンキャンペーン等）について （２）令和 7 年度セーフコミュニティ会議等スケジュール（案） 4. 閉会
事 務 局 （家庭子ども相談課）	【開会】 ・セーフコミュニティ活動とは ・委員自己紹介
事 務 局 （家庭子ども相談課）	【協議事項（１）正・副委員長の選出】 ・委員長に重永委員が立候補、副委員長に佐田委員が立候補 ともに異議なく、委員全員からの承認を得られた。
委 員 長	【傍聴者の確認】 ・傍聴者なし 【進行】
事 務 局 （安全安心推進課）	【協議事項（２）】 次期国際認証に対するアンケート結果について 説明
委 員 ①	＜質疑応答＞ 最初の国際認証を取得する年に委員をしていた。外国からも何人か来られていたことを覚えている。我が国の児童虐待、子どものことに関しては、教育、子育てのあり方、地域性等があるが、国際的な観点で我が国の文化を理解した上でアドバイスをいただいているという感じはしなかった。 各事業の実施状況のグラフや数字についてのやりとりに終始していたように記憶している。 そう考えると、国際認証のマークがのぼりやステッカーに入ることや、国際認証

議 事 録

	を取得したという PR よりは、もっと久留米市の文化に合った具体的な取組に時間や労力を費やした方が良いと思う。																		
委 員 長	初めは、セーフコミュニティの意味を理解できなかった。従来から実施してきた「予防」というものを、市として外向きに発信すること、そしてその効果を数値化することが重要だと取組の中でだんだんと理解してきた。																		
委 員 長	新委員の方に質問 PTA 活動の中でセーフコミュニティを意識したことはあるか？																		
委 員 ②	ない																		
委 員 長	セーフコミュニティの国際認証を受けている市だということを、どこかで聞いたことはあるか。																		
委 員 ②	ない																		
委 員 ③	アンケート結果を見た時に、このままセーフコミュニティを続けるのかどうかを議論するのは難しいと感じた。 各対策委員会に活発なところと、そうでないところの濃淡があるのではないかと思います。 児童虐待防止対策委員会では、久留米市で過去に児童虐待の痛ましい事件があり、そこから久留米市全体が市をあげて児童虐待防止対策に取り組むようになった。このことを踏まえると、セーフコミュニティがあったから児童虐待防止対策が進んだのかどうか関連性はわからない。児童虐待についての法律はどんどん変わっていくこともあり、セーフコミュニティの効果は見えにくい。 今後セーフコミュニティの検討をするにあたり、対策委員会ごとにアンケートの回答結果が集約できると、もっと議論しやすくなるのではないかと思います。																		
委 員 長	対策委員会ごとの視点が分かれば、より検討しやすいということだが、事務局から報告はできるか。																		
事 務 局 (安全安心推進課)	数字だけしか手元にはないが、設問 4 に対する児童虐待防止対策委員からの回答結果は次の通り。 (1 3 名から回答)																		
	<table><tr><td>必要である</td><td>2 名</td><td>1 5 . 4 %</td></tr><tr><td>どちらかという必要</td><td>3 名</td><td>2 3 . 1 %</td></tr><tr><td>どちらかという必要でない</td><td>1 名</td><td>7 . 7 %</td></tr><tr><td>必要でない</td><td>0 名</td><td>0 %</td></tr><tr><td>わからない</td><td>6 名</td><td>4 6 . 2 %</td></tr><tr><td>回答なし</td><td>1 名</td><td>7 . 7 %</td></tr></table>	必要である	2 名	1 5 . 4 %	どちらかという必要	3 名	2 3 . 1 %	どちらかという必要でない	1 名	7 . 7 %	必要でない	0 名	0 %	わからない	6 名	4 6 . 2 %	回答なし	1 名	7 . 7 %
必要である	2 名	1 5 . 4 %																	
どちらかという必要	3 名	2 3 . 1 %																	
どちらかという必要でない	1 名	7 . 7 %																	
必要でない	0 名	0 %																	
わからない	6 名	4 6 . 2 %																	
回答なし	1 名	7 . 7 %																	
副 委 員 長	必要であるという回答がすごく少ないと感じた。 主任児童委員の立場から、セーフコミュニティの認知度を広げていかなければい																		

議 事 録

副 委 員 長	けないという理解はできている。しかし、広げていくために具体的にどうしたらいいのかわからない。この委員会の中でも関係機関がしっかりと手を繋ぎ、意見交換をしていかないと、私たちだけの活動では難しいと感じる。
委 員 ④	<p>久留米市がセーフコミュニティ国際認証を取得した 2011 年に私は妊娠、出産し、認証・再認証に向けて活動をしている中で子育てをしてきた。私自身は、子育て支援の機関にいたためセーフコミュニティの情報を得ているが、仕事以外で、子育ての場や保育園、小学校でセーフコミュニティに触れる機会は、なかなかない。保育園、小学校の保護者の中で、久留米市の国際認証取得を把握している人はほとんどいないのではないかなと思う。</p> <p>子どもが小学校からカレンダーの標語募集を持ち帰る機会があるが、ほとんどの保護者はそれがセーフコミュニティ関連だということを知らないと思う。</p> <p>児童虐待防止については、小学校 4 年生の時にセミナーを受ける機会がある。同様に、授業の中で子どもにセーフコミュニティを働きかけるような取組があると良いと思う。学校によって児童数も違うため、すべての学校というわけにはいかないと思うが、できるところから子どもたちへ働きかけを始めるのはどうか。子どもに関することだが、話しているのは大人。このアンケートに答えているのも大人の対策委員。しかし主体は子どもだと思う。子どもたちが育っていく中でセーフコミュニティを知る機会がどれくらいあったのだろうか。</p> <p>児童虐待防止対策委員会には、子どもたちが久留米で生まれ成長していく過程で、久留米市がどのようなセーフコミュニティ活動をしているか知り、それが子どもたちにどう根付いているかという視点があってもいいのではないかな。</p>
委 員 長	子どもの参画、子どもにも意見を出せるような取組のあり方についての意見だった。事務局はいかがか。
事 務 局 (安全安心推進課)	全員参加ではないが、夏休みの宿題の一つとして、各学校にセーフコミュニティの標語への応募の協力をしてもらっている。まずは「セーフコミュニティ」の言葉に触れて、それから中身を知ってもらおうということを引き続きいろんな場面で考えていきたいと思う。
委 員 長	<p>～ アンケート【1】委員になって何年目ですか？【4】これまで、国際認証の審査や事前指導を経験したことがありますか？の結果より ～</p> <p>アンケート結果を見ると、委員の入れ替わりがとても多い。セーフコミュニティ対策委員を続けることによって培われる活動の意味付けや、関連機関同士のネットワークの広がりもある。【4】の結果によると、これまで国際認証の審査や事前指導を経験した人が 4 割しかない。</p> <p>委員へもう少し継続的に関わってもらえるような働きかけはあるか。</p>
事 務 局 (安全安心推進課)	各対策委員会の委員は、事務局から委嘱をお願いしている。できるだけ長く携わってもらいたい気持ちはあるが、それぞれの団体の事情もあり、そのようにはなっていないのが現状だ。
委 員 長	セーフコミュニティは、データに基づいて取組を数値化し、第三者に見える化し

議 事 録

委 員 長	ていくことがとても大事だ。委員からも意見が出たように、このセーフコミュニティ活動があるからこそ変化した、という数値による評価ができるようなアンケートの方法が必要だと考える。
事 務 局 (安全安心推進課)	<p>【協議事項（３）】</p> <p>みんなでセーフコミュニティ賞について 説明</p>
事 務 局 (家庭子ども相談課)	被推薦者 ツインズクラブについて活動実績報告 多胎妊産婦さんへのインタビュー報告
委 員 長	<p>みんなでセーフコミュニティ賞にツインズクラブが推薦されている。児童虐待防止対策委員会で認定するかどうか、委員の皆さんに判断を仰ぎたい。今の報告を聞いて質問等はあるか。まず、ツインズクラブを知っている方はいるか。</p> <p>過半数が挙手</p>
委 員 長	特にツインズクラブと関わりが深い機関から意見をお願いしたい。
委 員 ⑤	ツインズクラブは、設立時から多胎妊産婦さんとその家族に対してピアサポーターとして多胎特有の悩みに寄り添い、こども子育てサポートセンターと連携しながら支援している。多胎児の子育ては、心身ともに負担が大きく、妊娠中の早産のリスクが非常に高い。経験者同士が情報交換し、気持ちの共有や課題解決ができることにより育児負担の軽減ができていると思う。このことは、児童虐待防止対策の視点からも大きく貢献されていると感じている。
委 員 長	ツインズクラブの活動は、妊産婦が目の前のことを考えるだけで精一杯な時に、細やかに行き届いた支援なのではないかと思う。
委 員 ⑥	家庭子ども相談課でもツインズクラブとは家庭への支援で連携を取ることがある。その家庭の事情に寄り添って保護者の話を聞き、丁寧に対応されていると感じる。双子、三つ子が生まれ、孤立に陥りがちな家庭もあるが、ツインズクラブの支援があることで孤立の防止に繋がっている。虐待と孤立はとても密接な関わりがある。孤立しやすい家庭に予防的に関わってもらうことは、児童虐待防止に大きく寄与されていると感じる。
委 員 長	みんなでセーフコミュニティ賞は、今後も１年に１団体か？
事 務 局 (安全安心推進課)	みんなでセーフコミュニティ賞は、団体数を１年に１団体と決めていたわけではない。今年度は初めての実施であり、１団体の推薦となった。今後、１団体にしぼる予定はない。
委 員 長	児童虐待防止対策委員会がツインズクラブをみんなでセーフコミュニティ賞に認定することについて、多数決。

議 事 録

	全会一致で承認
事 務 局 (安全安心推進課)	表彰式について周知 12月20日(土)午前中 市役所2階くすみホールにて セーフコミュニティ標語の表彰とともに実施予定
事 務 局 (家庭子ども相談課)	【その他(1)】 児童虐待防止対策委員会の取組(啓発活動 オレンジリボンキャンペーン等)について
委 員 長	キャンペーンを行う場所の新たな提案はないか、また、自分たちの団体のイベントに来てほしい等、意見や要望はないか？ (質疑無し)
委 員 長	教職員にも「189」が浸透してきた。 昨年、国が作成する啓発ポスターのデザインが変わった。これまで可哀そうな表情の子どもの写真だったが、可愛いカモのイラストになった。このカモが子どもたちに好評で、「189」の認知度が上がったと思う。やはり、どの年代に対してアピールするのか、ねらいが明確になると相手にも啓発メッセージが届くものだった。
事 務 局 (家庭子ども相談課)	今年度の街頭キャンペーンについて、実施の案内と参加協力をお願い
副 委 員 長	街頭キャンペーンの協力依頼の時期について 実施の1、2週間前の案内だと日程調整が難しい。協力体制があるので、早めに案内してほしい。
事 務 局 (安全安心推進課)	【その他(2)】 令和7年度セーフコミュニティ会議等スケジュール(案) (質疑なし)
事 務 局 (家庭子ども相談課)	【閉会】